

第5次袋井市スポーツ推進計画（案）にかかるパブリックコメント実施結果について

1 実施状況

- (1) 実施期間 令和7年12月23日（火）～令和8年1月22日（木）午後5時
- (2) 対象 市内在住・在勤・在学の方、市内の企業・団体
- (3) 資料閲覧場所
- ・市役所（2階スポーツ政策課、3階情報公開コーナー）
 - ・浅羽支所1階
 - ・はーとふるプラザ袋井1階
 - ・さわやかアリーナ1階
 - ・市ホームページ

2 実施結果

- (1) 意見提出者数 2人
- (2) 提出意見数 16件
- (3) 市の考え方・反映内容

青地：第5次スポーツ推進計画（最終案）に反映

| No. | 頁 | 意見・提言等の概要 | 市の考え方 |
|-----|----|---|--|
| 1 | 3 | 古フランス語 desport は、フランス語の音韻規則上、語末の t は基本的に発音されない。 したがって、実際の発音は「デスポールもしくはデスポー (despor)」と記述するのが適切と考える。 | <u>文献等により“ふりがな”が異なるため、ふりがな表記を削除します。</u> また、語源の根拠を明確化するため、「日本スポーツ協会が公表しているスポーツの語源」や「21世紀スポーツ大辞典」を引用し、「 <u>古フランス語の「desport」を「古代フランス語の「desporter）」と変更します。併せて、どの資料を参考にしたかを明記いたします。</u> |
| 2 | 51 | 基本目標2に掲げる「多様なスポーツを支える場と人の充実」の、「支える」基盤づくりは、本計画の成否を左右する中核的なテーマであり、スポーツ協会が果たすべき役割は極めて大きいと認識している。 関係機関との連携を一層強化し、地域の中核的な担い手としての責任と自覚を持ち、本計画の実現に向けて強い気概をもって取り組んでいく。 | スポーツ協会は、所属する競技部や支部、スポーツ少年団などの中核組織として、生涯スポーツの推進や競技スポーツの充実・強化などの重要な役割を担うとともに、スポーツツーリズムの推進など地域経済の活性化への取組を期待しております。 本市のスポーツ推進の中核となる必要不可欠な組織として、引き続き連携し、本計画の目標達成に向け更なる協力体制を築いてまいります。 |
| 3 | — | 【スポーツ推進計画と地域公共交通・アクセスの関係について①】 本計画は、スポーツ活動に参加するにあたり「そこまでどう行くか」という交通の視点がやや弱い印象を受けた。 広く市民や来訪者にスポーツを楽しんでもらうために、交通弱者への視点や配慮を本計画にも織り込めるとよい。 | 既存の公共交通を基本としつつ、本計画では、基本目標1により、身近な場所でできるウォーキングの推進をはじめ、コミュニティセンターや公会堂などへの講師派遣やスポーツ教室を開催してまいります。 |
| 4 | — | 【スポーツ推進計画と地域公共交通・アクセスの関係について②】 愛野駅からエコパまで間のほか、市内体育施設へのアクセスについて、ヤマハ発動機が袋井技術センターで開発・実験を行っているグリーンスローモビリティを、来場者輸送の補完手段として運行できるよう検討したらどうか。 | 第3次袋井市総合計画において、新たな政策分野として、文化・観光・スポーツを包括し、「交流が広がる魅力的なまちを目指す」こととしていることから、関係部課と連携し、取組について研究してまいります。 |

| No. | 頁 | 意見・提言等の概要 | 市の考え方 |
|-----|----|---|--|
| 5 | 57 | <p>【スポーツを通じた地域経済・産業とのつながりについて】</p> <p>本計画では合宿や大会誘致に触れているが、それを地域経済とどうつなげるかももう少し示してもよいと感じた。スポーツ振興を産業・経済・仕事・雇用や暮らしと結びつく分野に位置づける視点を織り込んでどうか。</p> | <p>本計画では、基本目標3にある「地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進」や「プロスポーツチーム等・民間団体との連携の推進」により、スポーツ合宿の誘致のほか、本市と協力関係のあるプロスポーツチームと連携し、市内での試合観戦機会の創出により、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、観光資源や地域資源との連携によるスポーツツーリズムの推進など、スポーツを活用した地域経済の活性化に向けて取り組んでまいります。</p> |
| 6 | — | <p>【いわゆる「競技スポーツ」以外の身体活動の扱いについて】</p> <p>若者や中高年、女性などでも参加しやすい、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ サーフィンやスケートボードなどのライフスタイル型スポーツ ◇ 武術やヨガ・ピラティスなど身体操作を重視する運動 ◇ 前掲各項も含めて勝敗よりも「身体感覚」を重視する活動への関心が高まりつつある。 <p>競技スポーツだけに捉われず、身体を通じた文化、暮らしの中の運動として位置づけることで、「日本一健康文化都市」を標榜する袋井市らしいスポーツ像が見えてくるのではと感じる。</p> | <p>本計画では、スポーツの概念を「自発的に楽しむ全ての身体活動」と幅広く捉え、競技スポーツのみならず、アーバンスポーツやマリンスポーツ、ヨガやピラティス、ウォーキングなどの取組も、基本目標1にある「成人のスポーツ活動の充実」や基本目標2にある「公共施設や公共空間の有効活用」において位置づけ、推進してまいります。</p> |
| 7 | 50 | <p>【情報発信の方法と市民への伝わり方について】</p> <p>スポーツイベントや教室は実施されても、「知らなかった」「後で知った」という声も少なくない。子育て世代、若者、働き盛り、高齢者など、それぞれの層に届く導線を意識した情報発信も一考に値する。スポーツの普及という意味では、「やりたい人が探すもの」から「自然に目に入るもの」にしていく工夫を意識していくと良い。</p> | <p>本計画では、基本目標1にある「効果的なスポーツ情報の提供」により、市民が求める情報を求める形で受信できるようウェブ媒体と紙媒体の組み合わせやスポーツ関連情報との併載など、ターゲットに合わせた適切な情報発信に取り組んでまいります。</p> |
| 8 | 44 | <p>【計画の成果の評価・定量指標のあり方について】</p> <p>KPIに相当する数値目標や評価指標が設定している点は評価できるが、市民にとっては「それで何が変わったのか」も大切かと思う。福祉・教育などの領域では「アウトカム指標」といわれ、「やったこと」ではなく「その結果、どんな変化が起きたか」を測ることを指すが、そのような視座での評価も検討することで、スポーツの価値への認識や理解がより一層高まると思う。</p> | <p>本計画は、市の総合計画の個別計画として位置付けるとともに、各種個別計画とも整合・連携して策定していることから、本計画の評価指標に加え、総合計画の政策指標「スポーツをしたり・応援したりする機会が多いまちだ」という市民割合の推移や、健康づくり計画やこどもしあわせプランなどの個別計画の取組や達成状況など、複層的かつ多角的な視点により、評価検証してまいります。</p> |
| 9 | 60 | <p>【スポーツを通じたシティプロモーションと「袋井らしさ」について】</p> <p>スポーツに関して「袋井らしさや、ならではの特色」が示されていないように見受けられた。</p> <p>袋井の特色を生かした取組として、施設整備や維持管理、イベント展開などを計画に明記して梃入れを行うことが、「袋井ならではの」発信につながると考える。</p> | <p>本市としては、スポーツの種目を問わず、チャレンジする選手を様々な形で応援・支援することが、その競技の関心や競技力を高め、特色あるスポーツのまちへとつながることから、本計画では、基本目標2にある「地域のスポーツをリードするアスリートの育成」や基本目標3にある「スポーツを通じたシティプロモーション」などにより、挑戦・活躍する選手を応援してまいります。</p> |

| No. | 頁 | 意見・提言等の概要 | 市の考え方 |
|-----|----|---|---|
| 10 | 41 | <p>【「日本一健康文化都市宣言」とスポーツ推進計画の関係について】</p> <p>本計画では「日本一健康文化都市宣言」への言及が第4章の基本方針の枕詞に留まり、具体的な関係性について明確な記載が見受けられなかった。本計画と日本一健康文化都市の理念をリンクさせることで、市民が、袋井市がスポーツを推進する理由をより理解できると思う。ひいてはそれが当市の魅力度向上につながる。</p> | <p>第3次袋井市総合計画においては、これまでのまちの将来像「日本一健康文化都市」を、まちづくりの普遍的な理念として継承し、新たに、「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」を将来像として掲げており、本計画でも、その考え方に即し、総合計画の個別計画として位置づけ、「スポーツを楽しむ機会の充実」「多様なスポーツを支える場と人の充実」「スポーツの魅力による地域活力の創出」を基本目標と掲げ、策定いたしました。</p> |
| 11 | 4 | <p>【中学校部活動地域展開に関する配慮について】</p> <p>地域移行にあたっては、部活動の代わりとなる活動が受け皿となり、部活動が担ってきた役割が損なわれないよう配慮が必要と考える。</p> <p>また、活動が形だけにならないよう、学校施設の円滑な利用調整などの実務や実情への配慮など、地域クラブの活動意向に影響が大きく及ぶと想像されるため、早い段階から調整ないし、施設充実などの考え方を示すなどしてほしい。</p> | <p>地域展開に移行していく中で、本計画では、基本目標2にある「地域団体や民間企業等との連携によるスポーツ活動を支える持続可能なプラットフォームの構築」により、Fまちプロジェクトを中心に、スポーツ協会や民間スポーツクラブ、地域スポーツクラブ、プロスポーツチームなどの連携により、中学生のスポーツ活動参加機会の充実に努めるとともに、学校体育施設などの活動場所の確保・調整にも注力してまいります。</p> |
| 12 | 53 | <p>【熱中症対策と地域資源の活用について】</p> <p>本計画案の熱中症対策はスポーツ指導者への研修開催に留まっているが、近年の環境や健康被害の重大性から行政や施設管理者としても責任が問われる局面も想定されるなど、強化が必要と考える。</p> <p>袋井市には熱中症対策飲料メーカーの大塚製薬飲料工場が立地するという強みを活かし、同社との連携をより積極的に位置づけてはいかかがか。</p> | <p>熱中症対策を進める上では、本市と平成29年11月に包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社をはじめとする民間団体やプロスポーツチームなどと連携し、本計画の基本目標2にある「競技スポーツ指導者の確保・育成」における、熱中症対策研修会への講師派遣や、基本目標3にある「民間企業との連携・協働」において、「スポーツ振興」や「健康寿命の延伸」など推進してまいります。</p> |
| 13 | 71 | <p>【学校プールの在り方の変化と市営プール・スポーツ施設の役割について】</p> <p>学校の水泳環境の変化は、市営プールの役割や教育利用と市民利用の時間帯調整、将来的な利用者増への対応などを計画の中に一定の視点を示し、水泳分野を通じた教育・スポーツ・健康づくりの連携する方向性が見えるとうい。</p> | <p>学校プールについては、「袋井市立小中学校プール利活用のあり方に関する基本方針」に基づき取り組んでおり、今後、更なる学校プールの再編が進む場合は、市内プールの役割の見直しや利用調整などが必要になってくることから、動向を注視する中で、計画への位置づけを検討してまいります。</p> |
| 14 | 45 | <p>【リハビリテーションとスポーツ推進計画の接続について】</p> <p>本計画は、リハビリテーションとの関係への記載がないと見受けられる。</p> <p>本計画で、スポーツを「元気な人だけのもの」とせず、「回復期からの参加」「再び身体を動かす入口」とした位置づけとして触れてもらえると、「日本一健康文化都市宣言」を掲げる当市で、本計画がより意義深いものになると思う。</p> | <p>本計画では、治療行為の一部として行うリハビリテーションについては表記していませんが、体力の維持・向上のための運動は、「スポーツ」として捉え、基本目標1にある「成人の健康増進・介護予防を支えるスポーツの普及」の中で、ウォーキングの普及や、ニュースポーツの推進、更には、指定管理者による運動プログラムの提供により対応してまいります。</p> |

| No. | 頁 | 意見・提言等の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|---|---|
| 15 | — | <p>【意見提出の形式要件（提出方法）について】パブリックコメントの提出方法について、電子メールや郵送に加え、入力字数制限に余裕のある電子フォーム提出を可能にしてほしい。また、受付完了通知及び提出内容の控えをメールで配信してほしい。</p> | <p>従来どおりの提出方法に加え、ご指摘いただいた電子フォームでの提出や、提出時における受領完了後の連絡方法などを担当課と共有し、今後のパブリックコメントの機会に活かしてまいります。</p> |
| 16 | — | <p>【パブリックコメントの周知方法について】パブリックコメント実施の情報が極めて見つけにくいと感じた。広く意見を募るのであれば、市ホームページトップページへの新着情報掲載やメローネット配信など、市民の目に触れる周知が必要と考える。また、同時期に実施している他の計画のパブリックコメントの周知についても、同様の状況が見受けられたため、関係各部門へも共有・連携してほしい。</p> | <p>各計画のパブリックコメントについては、開始時期に合わせて広報ふくろいや、市ホームページへの掲載などにより周知してまいりましたが、頂いたご意見は、関係課と共有し、より分かりやすい広報となるよう努めてまいります。</p> |